

令和2年2月13日  
警察庁交通局

## 令和元年における交通死亡事故の発生状況等について

### 1 令和元年における交通死亡事故の特徴について

- 交通事故死者数は減少  
前年比-317人、-9.0% (過去5年平均減少率-3.9%)
  - ・ 自動車乗車中死者数の減少が最も寄与しており、特に、高齢者の減少が大きい。
  - ・ 二輪車乗車中死者数も減少しており、特に、原付車乗車中の死者数の減少が大きい。
- 高齢者の自転車乗用中死者数は増加  
前年比+5人、+1.7% (過去5年平均減少率-4.5%)
- 75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数は減少  
前年比-59件、-12.8% (過去5年平均減少率 0.0%)
- 飲酒死亡事故件数は減少  
前年比-22件、-11.1% (過去5年平均減少率-3.4%)

### 2 昨年中強化した対策と死亡事故抑止効果

- 横断歩行者対策の強化
  - ・ 歩行者妨害取締件数の増加 (前年比+4万8,105件、+26.5%)
  - ・ 歩行者の横断中死者数の減少 (前年比 -90人、-10.9%)
- 適切な速度取締り  
自動車乗車中死者数の減少 (前年比 -114人、-9.5%)
- 12月における取組の強化  
12月の死者数の減少 (前年比 -54人、-13.2%)

### 3 本年の取組

- 横断歩行者対策
- 生活道路を含む速度取締り
- 自転車の安全対策
- シートベルト着用の促進